

議会って何？ 小学生 傍聴



議長新年のあいさつ / 委員会活動報告……………②

補正予算・報告事案等を審議……………③～④

村政を問う・一般質問……………⑤～⑬

議会を傍聴して（小谷小学校）……………⑭～⑯

わたしのひとこと（深澤憲夫さん・小池利治さん）……………⑰

コロナ収束を願って

議長 北村 利幸

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、村議会に、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

十二月からの降雪で、順調な冬季観光シーズンに入りました。昨シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大により人の移動が制限され厳しいシーズンでしたが、適度な降雪に恵まれ、多くのスキーヤーでにぎわうことを願っております。

デルタ株がおさまってきましたが、オミクロン株の感染が世界で急速に拡大しております。感染予防を徹底するとともに、ワクチン接種をすすめて、当村を訪れたお客さまに心を込めたおもてなしで安心して楽しんでいただけるよう、願って

おります。

国政では、菅政権が退陣し、岸田内閣が誕生し、公明党との連立与党が継続となりました。感染拡大により低迷する地方経済再生対策を実施し、景気回復することを期待しております。

村民の長年の悲願である「地域高規格道路松糸道路」は糸魚川インター〜山本地区の工事が進み、安曇野北インターのルートが決まりました。大町市街地の3ルート案が発表されましたが住民の賛同を得てルートが決定し早期に着工されることを願っております。雨中バイパス工事は1号トンネルが貫通し内部工事を進めており、同時に2号トンネルも設備工事が進んでおり、橋梁工事の早期着工を心待ちしております。

さて、村では高齢者が安心して住み続けることがで

きることを目的とした、複合拠点施設が昨年7月竣工となりました。村民の皆様が安心して生涯村内で暮らせる施設として、気軽に利用できるよう、議会での議論を深めてまいりたいと存じます。

また、コロナ対策特別委員会を継続し生活の不安を解消するよう取り組んでおり、村当局に提案するとともに国・県に要望活動を実施してまいります。

皆様にとりまして本年が輝かしい年となりますよう祈念し、年頭のあいさつといたします。



委員会活動報告

総務委員会

◎11月16日、初めに小学校の給食を希望者（総務委員2名、P6写真参照）で

実食。異物混入等確認のため直前に試食した校長と教頭が2か所の部屋を見守る中、コロナ対応で全員同じ方向で座り黙食し、整然と給食する状況を確認した。

次に小学校・中学校の授業状況を参観後、「小中学校長・教頭・園長・教育委員・議会総務委員会の懇談会」を実施し、現状と課題について資料をもとに説明を受け、特に新型コロナウイルスの対策等を中心に意見交換を行った。

経済委員会

◎9月3日、小谷在来種にんにく部会（会長 吉澤信男氏、専務 千国幸久氏）発足。村に伝わるにんにくを育成して黒にんにくの商品化を目指す。会員募集中。

◎11月4日、日本三大崩落地の一つの大谷崩れ（静岡県）視察。宮澤敏文県議・姫川砂防事務所長他。

◎11月9日、食の王国宣言、緑の山岳と日本のふるさと

原風景と「食をどう生かすか」「課題スイーツ」

◎11月15日、令和3年度地方行政・金融講習会（講師・総務事務次官・黒田岳一郎氏）。

・新型コロナ対策・新過疎対策・防災減災国土強靱化5年加速化・行政デジタル改革・公共施設等統合管理計画

◎12月2日、北アルプス広葉樹活用フォーラム（講師・赤堀楠雄氏）。

「広葉樹の育成方法や活用方法について」

◎12月8日、小谷村内スキー場聞き取り調査及び杓掛古民家施設工事状況調査。



広葉樹活用フォーラム

補正予算・報告事案等を審議

12月定例会 ◇ 専決処分報告

件名	内容	審議結果
損害賠償の和解並びに額を定めることについての専決処分報告	車両の方向転換時における他車との衝突	議会の委任による専決処分事項
工事変更請負契約締結の専決処分報告（村内山岳観光地域Wi-Fi整備工事）	契約額：862万4千円 変更後の契約額：6,815万6千円 契約相手方：株式会社シーテック長野支社	承認 (全員賛成)
工事変更請負契約締結の専決処分報告（村道千国若栗線道路改良工事）	契約額：511万5千円 変更後の契約額：8,497万5千円 契約相手方：株式会社松田建設	承認 (全員賛成)
令和3年度小谷村一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告	1,900万円追加 総額43億8,300万円	承認 (全員賛成)

◇ 村長提出議案

件名	内容	審議結果
小谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に増額する。	可決 (全員賛成)
小谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	コロナ感染者に対する傷病手当の対象期間を3か月延長し令和4年3月31日までに改める。	可決 (全員賛成)
令和3年度小谷村一般会計補正予算（第5号）	4,900万円減額 総額43億3,400万円	可決 (全員賛成)
令和3年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	1,220万円追加 総額3億4,500万円	可決 (全員賛成)
令和3年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号）	30万円追加 総額9,840万円	可決 (全員賛成)
令和3年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）	収益的支出 177万9千円追加 総額1億8,305万7千円 資本的収入 300万円追加 総額8,698万4千円 資本的支出 300万円追加 総額1億452万円	可決 (全員賛成)
令和3年度小谷村下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入 8万2千円追加 総額2億3,124万3千円 収益的支出 40万円追加 総額2億3,038万9千円 資本的収入 100万円追加 総額1億194万6千円 資本的支出 100万円追加 総額1億192万8千円	可決 (全員賛成)

小谷村杓掛古民家施設の設置及び管理に関する条例の制定について	指定管理者による管理 飲食提供等の施設運営	可 決 (全員賛成)
令和3年度小谷村一般会計補正予算(第6号)	600万円追加 総額43億4,000万円	可 決 (全員賛成)

◇ 請願・陳情

付託委員会	件 名	提 出 者	審 議 結 果
総務委員会	「辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情」の提出について	提出者 「新しい提案」委員会 責任者 安里 長従 全国青年司法書士協議会 会 長 阿部 健太郎	趣旨採択 (全員賛成)
総務委員会	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い	提出者 ウイグルを応援する全国地方議員の会 会 長 丸山 治章(逗子市議) 幹 事 長 小坪 慎也(行橋市議) 政調会長 笠間 昇(綾瀬市議) 総務会長 野田 彰子(東大阪市議)	趣旨採択 (全員賛成)
総務委員会	『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採択を求める陳情書	提出者 小谷村公立学校教職員組合 代表者名 松島 裕	採 択 (全員賛成)
総務委員会	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	提出者 小谷村公立学校教職員組合 代表者名 松島 裕	採 択 (全員賛成)
総務委員会	要援護世帯への灯油代助成(福祉灯油)を求める陳情	提出者 大北生活と健康を守る会 会 長 松島 吉子	採 択 (全員賛成)

◇ 議員発議

件 名	審 議 結 果
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」及び「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書(案)について	可 決 (全員賛成)
「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書(案)について	可 決 (全員賛成)
要援護世帯への灯油代助成(福祉灯油)の実施を求める意見書(案)について	可 決 (全員賛成)
豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書(案)について	可 決 (全員賛成)
林野関連事業の拡充と予算の増額に関する意見書(案)について	可 決 (全員賛成)

村政を問う

令和3年12月定例会一般質問

質問通告書 締切12月1日

持ち時間一人1時間に戻し、一般傍聴者は15名以内とし、当日は5名の傍聴者でした。
また、別途小谷小学6年生（18名）が傍聴（10時30分から約1時間）しました。

〈質問項目〉【順番は質問通告書提出順で、質問議員各自でページ作成をしています。】

14日（火） 午前10時～12時05分・午後1時～4時35分

- | | | | |
|---------|----|--|----------------------|
| 1、曾根原恵子 | 議員 | ① 令和4年度予算子育て支援と気候変動対策推進は | (6 P) |
| 2、猪股 充拡 | 議員 | ① 有害鳥獣対策について | ② 塩の道祭りの今後について (7 P) |
| 3、藤原 賢司 | 議員 | ① 小谷村における教育の展望について | ② 小谷村を取り巻く状況変化 (8 P) |
| 4、吉澤 学 | 議員 | ① 令和4年度予算編成について | ② 集落要望について (9 P) |
| 5、深澤 英喜 | 議員 | ① 村内での農業を継続していくための、小谷村独自の支援を。
{農業機械購入の補助を!} | (10 P) |
| | | ② 森林環境譲与税について | ③ 違約金提訴について |
| 6、太田 武彦 | 議員 | ① 防災体制の構築について | ② 大糸線の活性化について (11 P) |
| 7、宮澤 正廣 | 議員 | ① 小谷村のSDGsの対策と取り組みは | (12 P) |
| 8、吉岡 久人 | 議員 | ① 稗田山崩れを観光と教育の資源に | (13 P) |
| | | ② 土木アート砂防ダムめぐりツアーの状況は | |

「検討する」の回答はどうなったか？

【質問に「検討する」とした回答は、1年間検討後に村長より再回答されます。】(抜粋)

〈質問(令和2年12月)〉

〈再 回 答〉

- 観光事業者の経営難打開策のバーチャルツアーに関する取り組みは……… ◆ 本年4月よりケーブルテレビとインターネットの運営が公設民営化としてワイコム株式会社へ移行し、インターネット回線速度の改善が図られ、また、村内山岳観光地域 Wi-Fi 整備事業で柵池自然園・雨飾高原キャンプ場エリア・鎌池ぶな林亭周辺のインターネット環境が整い、左記ツアーなどの実施環境整備。
- 協力隊を鳥獣対策専門に特化した募集とかの対策は……… ◆ 都市部からの移住などの規定があり、その業務が起業や仕事として成り立つ保証がないこと、即戦力には成り難いと判断。迅速対応を考え、駆除員を集落支援員として採用も考えたが、猟友会との協議で実施に至らなかった。
- 有害鳥獣を有効利用するための加工施設の考えは……… ◆ 有効利用できる鳥獣を解体する施設は必要と考え、現在も事業の導入などを調査中。解体後の加工、販売は処理を行いたい人材が確保できれば実施することも進めたいが、現段階では駆除から加工処理までの事業展開はできていない。
- 空き家対策で一本化の組織改革はできないか……… ◆ 本年4月より観光地域振興課を新設し、集落支援係において一本化した窓口とした。
- AI 婚活システム導入の考えは……… ◆ 本年実施の北アルプス広域連合の事業で石坂探検村での出会いイベント開催で県のイベント等とも紐づけられ、当村独自の AI 導入は時期尚早と判断する。

新年度予算 子育て支援と気候変動対策は



曾根原恵子 議員

「保育室空間」 充分な確保を

問 保育園の未満児、一時保育の需要が高まっている。保育スペースが手狭になっている。早急な対策を求める。

答 村長 低年齢児の基準から計算すると定員一人オーバーでお願いしている。来年度の入園希望は定員を上回る見込みだ。一時保育についても手狭になっていることは事実で体制を含めて限界と認識している。子育て支援センターを保育園から役場保健

センターに移動して、保育室を確保した。当面の間は現状のスペースを有効に利用する。

問 「認定こども園」制度に変わり保育基準が緩和されたことも問題。子どもの全面発達を保証する環境を最大限に整えることは保育士と保護者の願い。行政の責任において保育環境改善の予算を。

答 教育長 現時点では特段の予算計上は見込んでいない。

問 現状認識しながらも改善の計画がないとは驚きだ。調査し、さらに現場の声を聞くべきでは。子育て支援センターについても役場会議室を使用しては、他の利用と共有ではなく、子育て支援の拠点としての専用室に改善を。

答 教育長 週3回の開催で203会議室を主会場とし、廊下で遊んだり塩の道公園に遊びに出かけたりしている。「子育て包括支援」としてベビーマッサージ、骨盤体操など新しい取り組みも好評だ。利用者が気楽に立ち寄れる場所を目指していく。

問 学校給食を教育の一環と位置付ける考えは。

答 教育長 小学生は年間補助額5,940円、中学生は7,000円、第3子以降は給食費免除となっている。学校給食法の制定により教育活動として実施されている。

問 「中心にランチルームがある学校」は小谷小の特色、食の学びを大切にしたいという村民



児童と給食を食べる会 (11/16)

の願いの象徴だ。給食の無償化の目的は経済支援だけでなく質の高い教育と未来投資の意味と効果がある。

答 教育長 負担軽減については、当面現状維持と考えている。

問 気候変動対策予算は。

第一歩は役場庁舎から。庁舎内の排出量削減目標と再エネ転換への計画は。

答 村長 2050年カーボンニュートラルを目指している。省エネに取り組んだ結果、2019年度には約18%削減した。再エネ転換は、今年度計画策定をしている。どのような取り組みをするか、再度実行計画を見直し、再エネ転換を盛り込んだ計画にする。暖房を電化して、再エネ使用に切り替え、化石燃料を削減する。

問 教育現場での実践や取り組みについてはどのように考えるか。

答 教育長 予算として明示できないが、中学の総合的学習で「小谷学」として地域の環境をテーマに学びを深めている。アルミ缶の回収や茅刈の体験を行った。学校生活ではエアコン、暖房、照明器具の見直しで省エネに取り組んでいる。持続可能な社会の創り手となる子どもたちが環境問題への理解を深め、行動するよう教育の充実に努める。

有害鳥獣対策について



猪股 充拓 議員

問

猿・熊・鹿・猪等、多くの有害鳥獣とされる生き物が生息する小谷村ですが、今日現在の当村における被害状況を伺う。

- ①農作物・高山植物等への被害状況は。
- ②今年度の駆除状況は、鳥獣別の駆除頭数は。
- ③鳥獣駆除後の処理方法は。
- ④有害鳥獣をジビエとして観光振興に繋げる考えは。

答

村長

①～②に関しては、役場では毎年、農作物被害状況調査を実施している。村民からの被害報告と職員による被害状況確認によるもの。

令和2年度の被害額は

723,000円、被害量2,924kg、被害面積54a。令和元年度は被害金額943,000円でしたので前年比では減少している。

高山植物については梅池自然園を主とする高山地帯で被害報告はないが、鹿の目撃情報もあるので食害などの注意が必要と考える。

駆除頭数については、本年度上半期の数字となるが、猪5頭(昨年1年間49頭) 猿2頭(昨年1年間11頭) 鹿6頭(昨年1年間14頭) 捕獲実績は昨年より減少している。あくまで上半期なので今後増加していく可能性はある。年によって被害状況や目撃情報・捕獲頭数には増減がある。

③に関しては、小谷村で駆除された鳥獣類は自家消費、埋設処理をおこなっている。加工精肉施設を利用すれば販売なども可

能。村内施設の検討はされていたが実現には至っていない。

大町市美麻に施設があるが距離の問題・受け入れ体制の問題など、現段階では村内の販売加工処理はできていない。

④に関しては、

ジビエ料理は観光客をもてなすアイテムとして十分な要素と考える。食と観光振興はジビエに限らず山菜・キノコ・野豚など広く活用し事業展開していきたい。

過去に行われたジビエ料理の勉強会や試食会など、実際にお客様に堂々と提供できる料理であるという認知から進めていきたいと考える。

塩の道祭りの今後について

問

コロナ禍、2年も中止された塩の道祭りが11月に開催され、10月には小谷中学生徒によるミニ塩の道祭りが開催。改めて村民に愛されている祭りと強く感じている。

答

村長

小谷村にとって塩の道祭りは、村民全員でもてなす大変意味のあるお祭りである。通常、大町市白馬村と連携し、GWに塩の道祭りを開催しているが現在のところ見通しが立っていない。

2年にわたり塩の道祭りが中止となり来春は実施したい考えはあるが、以前とは異なる運営体制を考える必要がある。

去る11月13日には紅葉ウォーキング・秋の塩の道祭りを開催し250名の方にご参加いただき、秋の小谷村を満喫いただくなかで、見直すべき運営やウイルス対策を試験的に実施することができたと考えている。

- ・参加人数
- ・バス乗車数の制限

- ・時間差スタート
- ・振舞い方法の変更
- ・有料事前予約

従来からの見直し事項、新しい生活様式を取り入れた事項など、新しい塩の道祭りの運営について大変参考になるイベントでした。

三市村の方向性については12月中の会議で検討する予定だが、必ずしも例年通りでなく変化させる必要性があり三市村の足並みがそろわなくても、小谷村としては5月3日には村を上げて塩の道祭りをを行うと宣言したいと考え、村民一丸となって祭りを継続していく意思ととらえていきたい。



小谷村における 教育の展望について



藤原 賢司 議員

問 教育長が目指す将来の教育像は。

答 教育長 予測困難な時代を生き抜くために、「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくこと」が重要となっている。教育大綱に掲げてきた「小谷に育ち、小谷を愛し、小谷を育てる人づくり」を基本理念とし、保育園・小学校・中学校とともに地域の力で子どもたちの育ちを支えていきたい。

問 特色ある教育のためのイメージ戦略は。

答 教育長 保育園から遊びを通してネイティブな英語に触れ、小学校では1年生から英語に親しみ高学年での学習となり、中学校での学びを重ねて、海外交流等の実践に活かすことで、小谷の特色ある教育成果としてアピールできるものと考えている。

問 今後、「すべては子どもたちの成長のために」ひとつひとつの取り組みが結びついて成果を上げていけるように取り組んでいきたい。

答 教育長 保育園から遊びを通してネイティブな英語に触れ、小学校では1年生から英語に親しみ高学年での学習となり、中学校での学びを重ねて、海外交流等の実践に活かすことで、小谷の特色ある教育成果としてアピールできるものと考えている。

問 コロナ禍における小中学校の環境変化、また、それらに対する現在の取り組み状況は。

答 教育長 ICT機器の整備に伴い、タブレット端末を活用した授業改善のほか、「個別最適化された学び」の実現を図るよう取り組んでいきたい。

うに取り組んでいきたい。

コロナ感染症対策を通して（Withコロナ）、内的環境の視点では、児童生徒、教職員、保護者のコロナ予防等の理解が深まり、未然防止、初期対応の適切な行動が図られている。また、校外での生活の仕方については、学級懇談会、学校だより等を通して、啓発と注意喚起を促し、家庭の教育力を信頼し進めている。

問 小谷村を取り巻く状況変化の対応について

答 人口減少・少子高齢化の急激な進行状況に対する対応策としての計画策定の考え方は。

問 人口減少・少子高齢化の急激な進行状況に対する対応策としての計画策定の考え方は。

答 村長 人口減少は避けられないが、人口減少の推計値を少しでも緩やかにし、高齢者が生き生きと暮らせる村にするため第6次総合計画を策定したので、指針を基に政策の実行を図っていきたい。

問 コロナ禍における国際環境の変化・国民のライフスタイルの多様化について、村長の具体的な計画の実施方法についての考え方は。

答 村長 インバウンド需要に対応できる観光の構築を図り、小谷村の里山や塩の道は外国人の訪れたい日本の原風景としてマッチしているので、課題とされるトイレなど、最低限の投資で需要に答えていきたい。

問 自然災害の激甚化・頻発化等について、村として最小限備えるべき対策・将来必要と思われる取り組みに対する考えは。

答 村長 減災に向けた河川改修や砂防施設強化を図るために村道や橋梁などの点検で危険個所の維持管理予算を配分しなければと考えている。

令和4年度の重点施策は何か



吉澤 学 議員

答 総務課 4月には小谷村議会議員選挙が

予定されており、選挙運動用自動車の経費やポスター作成費等を公費負担で対応するものですが、必要額を予算計上し、村議会議員の立候補に係る環境改善を図りたいと考えている。

本年度の集落要望において、各地区集会施設へのエアコン設置の要望が多々あるが、現状の集落等施設整備事業補助金では下限の事業費が50万円と高く、エアコン単体設置での活用が難しい所でした。このため補助対象事業費の下限額を20万円程度に下げることが検討しており、予算に反映

していきたいと考えている。

DX（デジタルトランスフォーメーション）関連事業について、国全体としてDXを推進していく方針であり、全ての村民にデジタル変革の恩恵が行き渡る社会「さりげなくデジタルな小谷村」を実現すべく、行政経費の縮減を念頭に置いた中でもDX関連事業を推進していく。

答

住民福祉課 新型コロナワクチン接種に

関連する予算について、既に3回目の接種に向けた補正予算は概算にて今議会に提示している。令和4年度予算に関しては、国の動向もあり、予算ベースの金額は全くの未定である。

マイナンバーカードの普及は今後の住民サービス向上につながることやDXの普及による更なる自治体の

利便性向上を鑑みるべく検討すべき事項として指示をしている。もう一つ、窓口でのマイナンバーカード端末操作のタブレット購入について進めていく。窓口タブレットを置くことで村民の皆様の手続きを補助したい考えである。こちらの予算は15万円程度を見込んでおり、高額な予算ではないが、村民の皆様にとって役に立つものであり、住民福祉課の重点項目として考えている。

答

観光地域振興課 農林係 森林経営管理

制度活用に伴う森林管理事業実施。

観光工商係 柵池自然園を中心とした柵池高原上部の誘客体制の強化。

集落支援係 大字あたしんちから始まる「ひと・もの」交流事業。

答

建設水道課 建設係 除雪管理シ

ステムの不具合があるので、実証実験をしながら、更新を考えている。また、村道橋の2巡目の点検が終了したので、点検結果のⅢ、Ⅳ判定の橋梁について、廃止判断も視野に入れる中で修繕を検討していく。

水道係 検討してきたクラウド型遠隔監視システムの導入を考えている。

答

教育委員会 予算編

成にあたっては、経常経費の予算計上を基本としている。予算的には高額ではないが、下記3点を重点施策とする。
総務学校係 小・中学校のICT学習への支援、タブレットの活用（自宅への持ち帰り等）、プログラミング教育。

社会教育係 稀少蝶・稀少鉱物等天然記念物の保護と調査研修。

保育園 保育の充実のため臨時・代替保育士の雇用。

集落要望について

問

どのように取り組んでいるか。単年度処理できない要望の扱いはどうしているのか。

答

村長 各地区の要望

を聞き取り、村の施策・事業に反映する場として「集落要望ヒアリング」を毎年8月に開催しており、今年度は8月23日、24日に開催した。より安全安心な生活への要望として村道をはじめとした生活基盤への要望が多くなっている。要望内容については、ヒアリングの際に回答しているほか、関係課、係で検討し、各地区へ回答しており、今年度は10月19日に各地区連絡員宛に回答を送っている。

県においても全ての要望が即事業化されることは難しいことから、村も新規要望と合わせ、粘り強く県に要望していくところである。

小谷村で農業を継続して いくための、独自の支援を



深澤 英喜 議員

農業機械購入の補助を！

問 村内農業環境の現状は。

答 村長 小谷村の農業を考えると、平地と比較し、どうしても労力や経費がかかる状況は誰もが認めるところであるが、生活する上で、農業はとても大事な生業になっている。また、販売して生計を立てるのではなく、自家用として米、野菜類を栽培する方が多くなっている。作付面積は減少している現状である。しかし、高齢者が農業に携わることは、健康福祉的な意味合いでも価値がある

ことであり、農地を維持することは、住宅周辺の環境維持等にとっても役立つ。

農地の持つ多様性・多面性を維持し、次世代に引き継ぐためにも、今ある農地でより効率化し、維持・耕作しやすい環境を作る必要があると考えている。

問 村内農業者に対する補助は。

答 村長 小谷村独自では、「水路・農道改良資材費補助金」「有害鳥獣駆除対策補助金」「きのこと補助事業」である。

問 有害鳥獣対策補助金の期間、交付額等は。

答 村長 平成23年度から実施している。本年令和3年度までで、401件の受付。399件の交付。交付総額33,819,250円。

問 営農センターへの農業機械の補助は。

答 村長 村が所有する営農機械等貸し付けを行ってきた。村で購入した機械を貸し付けて行うことで

農家の機械作業支援を過去から実施しており、現在は(株)百姓七人衆への貸し付け、営農支援事業を継続している。

問 平成25年から3年間、支援センターが実施した、農業機械購入補助内容は。

答 村長 50万円以上の営農機械を購入し希望のある農業者に対して、50万円を限度として、20%の補助事業を実施した。3年間で30件、交付総額6,925,000円の実績であった。

問 村民からも要望が上っている「農業機械購入補助金」の施策を。

答 村長 農業機械支援も国の政策に合致した計画を基準に、補助事業を導入しながら施策を進めていく。

問 農業機械補助金を行ってほしい。

答 村長 集団・大きな団体で行う場合は支援していく。個別には支援は行わない。

問 ふるさと応援金寄付金を機械購入補助に。

答 村長 ふるさと応援寄付金は精査して使っていないかなければならない。

違約金提訴について

問 経過報告を。

答 副村長 令和3年1月15日付で、原告…野崎由紀子氏、被告…小谷村(被告代表者…村長 中村義明)とする損害賠償請求事件の訴状が長野地方裁判所松本支部に提出された。原告の請求の趣旨については、小谷村に對し、国家賠償法に基づき、違約金相当額4,200万円並びに裁判費用420万円の合計4,620万円及びこれに對する令和元年7月21日から支払済みまで年5分の割合

による遅延損害金の支払いを求めているものである。裁判の経過については、令和3年1月19日付で長野地方裁判所松本支部より訴状が送達され、その後、5回(4月21日、6月9日、9月1日、10月13日、12月8日)の弁論準備手続期日が開廷されている。令和4年2月16日が次回弁論準備手続期日として指定された。

問 (株)おたりアセットの清算状況は。

答 副村長 令和元年6月30日に解散し、以後会社清算手続き中であるが、現時点で清算終了になっていない。会社の清算に向けて、財産と債務の整理を行っているが、現在、村が係争中である損害賠償請求事件の結果が、会社の債務に係っているため清算終了には時間を要すると考えている。

*森林環境譲与税の質問は割愛。

防災体制の構築について



太田 武彦 議員

問

①自主防災組織を小谷村防災体制の中でどのように位置づけ、何を期待しているか。②要支援者支援体制、避難所設置体制の再考の考えはあるか。③施設、物資等の配備態勢は十分か。④小谷村災害対策本部と自主防災組織の連携体制は十分か。自主防災組織と村との打ち合わせ会を考えているか。

答

村長 ①災害発生時の被害の防止、または軽減のためには自主的な防災活動が必要であり、特に、出火防止、初期消火、要配慮者への対応に係る役割は重要である。また、平

常時における活動を通じ地域の連帯感の強化を期待されることから自主防災組織の育成強化を図っている。②小谷村地域防災計画の「要配慮者支援計画」において、関係機関、地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら要配慮者等自ら避難することが困難であり、特に支援を要する者を守るための防災対策の充実を図るとされており、要支援者の名簿作成について記されており、住民福祉課において、避難行動要支援者名簿と同じ役割を併せ持つ、「65歳以上の高齢者」、「高齢者と児童」、「要支援1」から対象者を抽出し「要支援者名簿」を作成している。対象者は、740名となっている。また、個別支援計画を検討しており、「安心支え合いマップ」の作成を各地域にお願している。要支援者台帳

を各地区民生委員に配り、緊急時に消防団と連携し、訪問確認など対応することとしている。指定避難所として9施設が指定されており、今、この設置体制の変更は考えていない。③指定避難所には食料品等が備蓄されている。避難所開設時には、災害対策本部の住民部が必要物品を供給する。また、「長野県市町村災害時相互応援協定」による応援体制を整備するほか、大北農業協同組合、生活協同組合コープながのと協定を結び災害時に備えている。④災害警戒本部体制時からの連携、避難所運営における連携をお願いする。⑤自主防災相互の連携、村との連携、関係機関（消防団等）との連携をさらに図る。

大系線の

活性化について

問

①どのように考え、どのような位置づけているか。②各種施策の

効果等をどう分析しているか。③現況を払拭する向上策はあるか。④具体的な提案等が必要と思われるが「観光地域づくりプラットホーム」での検討提案はどうか、J R各社との意思疎通は、お願い、打ち合わせから提案取り組みの検討へのスタンス変更はできないか。⑤取り組みに対して村民はどう行動するか村あげでの取り組みが必要であるがどう考えるか。

答

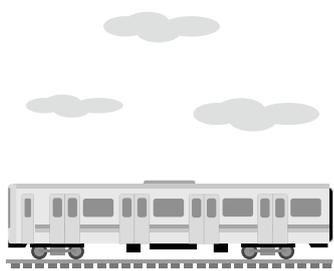
村長 ①村民の貴重な移動手段、通学手段であり、北アルプス地域の観光面から重要路線ととらえている。②沿線自治体や関係機関と観光面での利用促進事業を数年行っている。鉄道利用を好むイベントなどは一定の集客が見込めるが恒常的利用増につながっていない。魅力ある路線として乗車目的を明確化した施策を行うことが必要と思う。③J R側から経営

状況が厳しいことは意見されている。協議会において様々な事業を行っているが、新型コロナウイルスまん延により移動・行動制限等事業制約の中にあつて、実施効果は見えていない。④「観光地域づくりプラットホーム」の中では議題にされていない状況である。今後提案があれば伺う。J R各社との利用促進に関して協議、議論してゆく。

⑤協議会、期成同盟会での啓発運動はもとより村独自の施策展開を指示している。

質問者

両テーマでの質問は以前から数回にわたるが、両テーマの進展状況を鑑み、危機感を抱いており、重ねての質問となった。



小谷村のSDGsの

対策と取り組みは



宮澤 正廣 議員

問 村としての重点的な取り組みは何か。

答 村長 持続可能な開発目標SDGsが目指す17の目標はどれもが重要な項目である。

小谷村第6次総合計画においては、本編第2章「計画の基本的事項」第2項にSDGsの17の目標と当計画の関連を整理している。当計画では、それぞれの施策項目がSDGsの掲げる目標の内、12の項目に寄与すると示している。中でもSDGsの目標11「包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市



リサイクル活動中

及び人間居住を実現する」に寄与する施策項目が多く計画されている。いくつかの具体的例を挙げると、総合計画の基本目標2「皆が住み続けたい安心安全な村づくり」の施策項目1「消防・防災・減災体制の強化」では「住民の生命、財産を災害から守るため、小谷村

地域防災計画に基づく防災体制と防災機能の強化・向上に務めるとともに、地区防災マップと住民支えあいマップの策定によって、住民の防災意識の高揚と、地域コミュニティの強化による災害に強い、安全・安心な村づくりを進めます」を基本方針に各施策を実施する。

問 SDGsの協議会組織設立の考えは。

答 村長 小谷村第6次総合計画の各施策を定期的に検証する仕組みとして、審議会を組織し、当計画の進捗等について毎年

の評価を実施し、改善しながら計画を進めていくことにしている。当計画の各施策の実現がSDGsの目標達成に寄与するとの考えから、新たに組織される審議会においてSDGsへの関わりも踏まえ、進捗動向や改善点など審議を進めて行きたいと考

えている。また、年々、人口が減少していく中、村民への負担が大きくなることも考えられるのでSDGsに特化した協議会組織は設立せず、SDGsの取り組みも進めていくことを考えている。



地域のリユース活動

あると考えているので、本計画において掲げた施策の実施や重要業績評価指標KPIの達成に向け取り組んでゆく。CO2削減のため、EV化を考えて取り組む。

問 2050年ゼロカーボンを実現し将来世代に負担をかけないようにする目標にも取り組んで行くことあるがどのように取り組むか。

答 村長 9年後の総合計画を目処に取り組

問 村としての方向性（対策）は。

答 村長 第6次総合計画に記載された各施策の実現がSDGsの目標達成に寄与する取り組みで

達成に寄与する取り組みで



充電中のEV車

稗田山崩れを

観光と教育の資源に



吉岡 久人 議員

問

10月6日に来馬の松ヶ峯無線中継所の展望台に日本三大山崩れの一つ「稗田山崩れ」(1911年(明治44年)8月8日発生)の案内板が110周年記念として設置された。

(1)1707年(宝永4年)10月28日の宝永地震で山体崩壊の静岡市葵区大谷嶺の「大谷崩れ」と1858年(安政5年)4月9日の飛越地震で崩れた富山県立山連峰の鳶山の「鳶崩れ」について県と視察したが、①経過②観光活用状況③博物館等の拠点施設の有無④学校教育活用⑤ガイド育成⑥課題の有無

(2)視察を経て、稗田山崩れの現状と今後の取組みで①他の崩れでは上から見る展望登山道整備がネットで確認できるが、当村の登山道整備の考えは②地元主体でガイド育成会を立上げ、ガイド教本を作成したいが支援の考えは③稗田山崩れ観光ツアーと組み合わせ、宿泊費を増やす考えは。

(3)随筆・小説家の幸田文氏の「崩れ」について①他の現地にも碑文は設置されているか②今後の活用計画は③幸田文氏の孫の作家・青木奈緒氏に来年の文化祭の講演会に出ていただき、村民関心の醸成をすることはどうか。

答 村長 (1)(2)今春、上部から稗田山崩落を観る場所がないかという構想の一つの案として、林道山の神線を延長して行くことができな

いかな、県林務課、姫川砂防事業所に相談し現地確認をした。しかし、既に林道延長の計画は終了で、延伸は現状難しいとのこと。それならば、まず他県の崩落地を視察し、どのような広報事業等が展開されているか確認するため視察した。両方とも国交省の直轄砂防として整備され、鳶山崩れは立山砂防事業所の隣に富山県が整備した立山カルデラ博物館で企画展示や防災情報発信、イベント開催で紹介している。防災学習もして、砂防体験ツアーなどでは、砂防事務所が運航するトロッコ列車で1時間30分以上かけて現地に行き、カルデラ内の歴史や防災減災を学ぶ体験が開催されている。ガイド育成は砂防OBによるスタッフで対応と教育ができています。大谷崩れも崩落現場を見に来る観光客や登山道、ハイキングコースも整備され、上部から見る登山客もいるとのこと。下流域の道の駅には静岡市が施設整備し、国交省で砂防事業の広報活動を紹介す

るモニター、パネル、衛星写真等の整備をした展示スペースがある。幹線路からかなり奥に入らなければならず、道路整備において課題があると感じ、崩落状況や復旧工事等の概要を知らしめることに主眼をおいているため、観光エリアという考え方ではなくスポットの一つとしてのとらえ方が主眼で麓での広報に経済効果を求めていると感じた。



「稗田山崩落地を中心とした広報活動」として、国交省松本砂防事務所長、県砂防課長、姫川砂防所長と私で、数

回打合せをし、情報の共有できそうなことを上げていただいた。更に検討協議会の場を立上げていくなどして村の構想を考えていく状況。関係地区への説明や村民の意見も聞きたい。当面は道の駅の一部のスペースを活用しての情報発信をしたい。(3)両方とも文学碑があり、自然災害伝承碑として防災意識の向上や防災教育で活用したい。青木氏の講演は年度初めの計画段階で候補者の一人として運営委員会に示したい。勉強会での講演でもよいかと考える。

土木アート砂防ダムめぐりツアーの状況は

答

村長 観光連盟で主催、平成24年8月から計27回実施。参加者数は村内巡りツアーを含め約500名。ガイドは連盟職員と専属に委嘱する砂防OB。今後は他の地域では開催されていないことが興味を引く商品と思う。更なる付加価値をつけた取組みをしたい。

議会を傍聴して 小谷小学校6年



上川 凌佑

議会を見に行つて、議員

さんたちが小谷村の問題などについて話し合っていてすごいと思いました。質問者は伝えたいことをしっかりとめて言っていて、答弁する側の方もその場ですぐに答えていました。議員さんは、小谷村のこわれている物や、被害のことで質問していて、村長さんやいろんな課長さん達が議員さんの質問に対して答弁していました。議員さんと答弁の方しかしゃべっていないので、笑い声がいつき聞かなくて、ほんとに静かだと思ひました。教室より暖かくて僕は眠くなりました。長い時間あんなに静かで寝ないでがんばっていてすごいと思いました。僕も長い時間で眠くならないで起きていられるようにがんばりたいと思ひま



澁谷 虎珀

した。この議会の見学を通して議会はテレビでしか見たことがなかったので行けてよかったです、議会がどうなのか知れてよかったです。

ぼくたちは議会を傍聴しました。議会では議員さんたちが保育や給食費や気候変動対策や鳥獣対策について質問して、教育長さんや村長さんが答えていました。よく分からない言葉がいつぱい出てきて難しい話をするんだなと思ひました。村長さんや教育長さんが質問にすぐ答えているのもすごいと思ひました。議員さんたちもまたすぐに質問をしているのもすごいと思ひました。みんながすごく真けんで、いろいろ本当に解決してくれそうな気が



威知 千尋

しました。今度議会で提案するときにとてもきんちようしそうです。とちゅうで、ジビエ料理の話がありました。おいしそうだったのでジビエ料理の話はちよつと興味がありました。

この議会の見学で、議員さんたちや村長さんや教育長さんが真けんに話し合っていることが分かりました。ぼくは、議会を初めて見学しました。議会を初めて見学して、小中学校の給食費の負担軽減、ゼロカーボン、有害鳥獣対策、塩の道等色々なことについて話し合っていることがわかりました。話を聞いていると、初めて聞く言葉もありました。今後、この場所でも提案をすることを考える、とてもきんちようしました。議員の方が質問すると、村長や教育長、総務課長の方がすぐに質問に答



平川 空

弁して、すごいと思ひました。議員の方も小谷村の課題に色々気づいていてすごいと思ひました。話の途中にSDGsの話も何度か出てきていて、小谷村のことだけを話し合っていると思ひましたけれど、小谷村以外のことも話し合っていて、色々なことを話し合っていてすごいと思ひました。

ぼくは、議会を見学して、難しい話だけじゃなくて、身近なことも話し合っていて、議会では、色々なことを話し合っていたことを知ることができました。僕が、議会傍聴に行つて一番びっくりしたことは、子供たちを優先にして、考えてくれていたことです。子供たちが、学校で過ごしやすくなるようにと発言して、話し合っていました。小学校のランチルームに行つて、議員さん

ちは、僕たちと一緒に給食を食べました。ランチルームのヒーターがこわれていたので、議会で話し合っていました。

中学生がやってくれたイベントも、ほめていました。ミ二塩の道祭りをもつとやってほしいと言っていました。若い人たちに「新しい物を作らせよう」と言っていました。畑のことも考えていました。

「動物をくじしよう」と言っていました。「くじよした動物の肉を使ってジビエ料理など、メニューを作つて活用できるようにしてみたらどうか」と話していました。質問された人は、すぐに答えを言っていました。動物をくじよするために、スペシャルチームを作ろうということも、言っていました。

世界のことも考えていました。小谷村を、安心・安全にしようとして、とても考えていて、すごいと思ひました。

僕は、小谷の魅力調べの学習で、雨飾山の鎌池のことを調べています。鎌池のことを質問するのでよろしくお願

いします。子ども会議では、がんばりたいです。



矢口 尚樹

ぼくたちが聴いた議会では、学校や、SDGs、書いよう対策やジビエについて話し合っていました。今後、この場所で提案をすると思うと、とてもきんちょうしました。

話の内容は難しそうでしたが、意外と理解できました。

話が村の中でなくSDGsなどの世界で話題になっていることも話していて、いろいろなことを話しているんだ、と思いました。このような話の内容を何個も考える議員の人はすごいと思いました。

議員さんの質問に答える村長さんや教育長さんたちは難しい質問にスラスラとしっかり答えていたので、とてもがんばってすごいです。と思いました。ぼくが議員だとしたら、きんちょうして質問の途中にかんだり、早口で

しゃべったりしてしまいそうです。

今回の議会見学で、議員さんたちは、とても真けんに議会に取り組んでいることがわかりました。そして、とても自分のためになったと思います。



吉澤 陽佳梨

私は、議会を見に行きました。

会議室に入ったときとても静かであつた。雰囲気があつていてきんちょうしました。

会議のとき、発言は手を挙げて、礼をして行っていました。内容は、未来や今や昔の話やニュースや新聞で書かれていたことが出てきました。議会の方々の発言のときには、話し声や笑った声などがなかったです。学校では、だれかが話しているとき、話し声や笑った声があるけれど、会議では声などがなく

てびっくりしました。あと、聞かれたことには、すぐに立つて答弁をしてとてもおどろきました。私だったら少しとまどってしまつてそんな答弁をできないのに、発言者はすぐに立つてすごいです。

あと、しゃべるときに決まっているかのようにしゃべっていてすごいです。

今回の経験をもとに学校の授業などでも発言をできたらいいと思います。



目時 るか

私は、議場に行つてみて、

次々と、はっきりした声で、質問に答えていてすごいです。

質問されても迷わずにすぐに立ち上がり、質問に答えていて、「小谷村はこのような会議で村が成り立っているんだな」と思ひ、感心しました。私も、この議会で話し合っていた人達のように、質問されたらしっかり

とした声で返したいと思いました。

私は、議場は、ニュースなどで見たことはありませんが、実物を見てみると、いかにもすごくえらい人達が集まつて話し合う所だと思つて、少し緊張しました。

話を聴いていくと、小谷の現状についてのこと、教育の展望のことで、地球温暖化や、学校や保育園のことなどくわしく質問して、くわしく答えていてすごいです。



丸山 美尋

私は、今回初めて議場に行つたのでとてもきん張しました。議場は、自分が思つていたよりも静かでもとてもおどろきました。

話し合いのテーマは、学校の給食、地球温暖化、村内の

野生動物、塩の道祭りの今後についてなどでした。私がとてもすごいなと思つたのは、答弁する側はその場ですぐ答えられていたことです。

そして私たちは、総合的な学習の時間の「小谷の良さを発信しよう」の学習で、

村内にあるお店や、きつさ店などの改善点などを村に提案します。今回の話し合いをもとに「どうすれば上手に伝わるか」などを考えながら発表したいと思います。

今回の議会見学で、議会の話し合いが私達の生活に結びついていると思いました。議会を見学させていた方がありがとうございます。



平川 陽

小谷村議会の傍聴に行きました。小谷村議会の会議室に入るとき、心の中で緊張したけれど、部屋の中に入ったら、部屋がとてもキレイでした。そして、部屋はとても

広がったです。

少しして、話が始まりました。その中で議員さんの話で、一番心に残ったのは、「ランチルームのヒーターが壊れている」と、発言してくれたことです。僕はちゃんと、学校のことを考えてくれているんだなあ、と思いました。

議会でもわかったことは、議員さんたちは、小谷村のことを深く考えて、問題を解決しているということです。

僕は総合的な学習の時間の「小谷の良さを発信しよう」の学習で、ホタル保存会のことを調べています。ホタルはとてもキレイなので、小谷村にホタルを見られる場所があった方がいいと思います。今回のことをいかして発表したいです。



松澤 美里

私は、議会に参加させてもらいたくさんのことを学

びました。

議会の話は少し難しかったけど、保育園や小学校について真剣に話し合い取り組もうとしてくれていたことを知り、とても感謝したいといけないなあと思いました。私達や地域の人、小谷村のためにいろいろな取り組みをしていただき、今でも過ごしやすい小谷村だけど、コロナ禍でももっと過ごしやすい小谷村にしようという真剣に話し合いをしていてありがたみを感じました。

議会の人には、一つ一つの質問にしっかりと回答をしていて、それに対しての意見や提案などもしていただき、ありがとうございました。私も、議会の人を参考に提案等をしていきたいと思います。

小谷村には、たくさんの人に来てもらいたいと思います。コロナ禍でも来やすくすることができるよう、私も考えてみたいと思います。

わたしのひとりごと

コロナ禍の消防団

小谷村消防団長 深澤 憲夫

コロナ禍の影響で、消防団の活動に相当の制限がされてきました。県大会の中止から始まり、大北大会・幹部訓練、村の操法大会の中止と大人数で集まる機会は失われ、会議自体も書面開催にて行われ、私としても歯がゆい思いでした。2年目に入り、ワクチン接種のスタートで感染も減少する中、新入団員を対象とした各団別に訓練を開始。村を守る消防団として縮小してはありますが活動することが出来ました。また、団として隔年で訪れている歴史もある静岡県、秋葉神社に参拝し、村の安全・安心を祈願することができ、私も安堵しました。

今後も、小谷村と村民を守るため、活動に精進いたします。

しますので、宜しくお願ひいたします。

思いのまま

小池 利治(李平)

時間が取れたこともあり、12月定例議会一般質問に久々に外向き傍聴させていただきました。質問は多岐にわたり、村民の身近で切実な願いを常に汲み上げ反映されていることに心から感謝申し上げます。

村民一人ひとりが知恵を出し合い協力し合う、ともに村政に関心を持ち、行政と議会が両輪のように議会と村民もそうでなければならぬことを分かっていながら、何一つ出来ていない自分に、今回傍聴してハッと気付かされた思いとなりました。

村民の一人として、何事にも積極的に参加し自覚を持って行動しようと思つて改めた一日となりました。

編集後記

村議会議員活動も任期が終わろうとしています。私は平成31年4月の再選挙にて無投票で村議会議員になり、約3年の任期を務めてまいりました。

本年4月には、小谷村議会議員選挙があります。出馬される方々はどのくらいいらっしやるでしょうか。ご存じの通り4年前の選挙では10人に満たなく、9人の議員が無投票でした。今度の選挙では10人以上の出馬があるでしょうか。

現議員も定数・報酬等の検討を行ってきました。次の定数は現状のままです。公職選挙法も改正され出馬される方々の出費も軽減されることになると思います。また、選挙のやり方はいろいろあると思います。

(深澤 英喜 記)